



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 管理部長 (氏名) 大原 勲 TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	5,591	0.3	933	25.8	934	28.7	509	19.7
26年9月期第3四半期	5,574	0.2	742	0.9	726	3.2	425	35.4

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 534百万円 (18.3%) 26年9月期第3四半期 451百万円 (35.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	46.83	46.59
26年9月期第3四半期	40.62	39.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	8,180	4,716	57.6
26年9月期	7,012	4,352	62.0

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 4,711百万円 26年9月期 4,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	-	20.00	-	20.00	40.00
27年9月期	-	20.00	-	-	-
27年9月期(予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	2.5	1,320	16.6	1,300	17.4	745	13.6	68.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期3Q	10,999,100株	26年9月期	10,999,100株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	19,020株	26年9月期	518,975株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期3Q	10,884,145株	26年9月期3Q	10,480,125株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年10月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による金融政策を背景に円安・株高基調が継続し、企業業績は引き続き緩やかな回復基調にあります。しかしながら、消費税率引き上げや輸入原材料価格の上昇等により個人消費の回復は弱く、依然として先行きは不透明な状況となっております。

海外経済においては、中国をはじめとする新興国経済の減速や欧州経済の不安定化等により、景気動向に重要な影響を与える懸念が一段と高まりつつあります。

保険業界においては、改正保険業法が来年施行予定であり、保険代理店にも保険募集管理態勢の一層の強化が求められております。その中で、営業環境についても公的保障を補完するものとして民間保険に対する底堅いニーズはあるものの、景況感の改善に伴い消費者心理が貯蓄から投資や消費へ向かう等、生活防衛色に一服感が見られ、やや逆風下にあると言えます。

このような状況の下、当社グループは、保険流通改革のパイオニア企業として国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」を主軸とする「Web to Call to Real」の一气通貫型サービスにより、お客様のあらゆる保険ニーズに対応できるプラットホーム戦略を推進してまいりました。

国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」は、保険情報のディストリビューターとしてさらなるお客様のユーザビリティ向上と、保険会社各社との連携強化のための進化を追求しております。特に、あらゆるデバイスを通じた保険の比較・申込サービスの拡充を積極的に進め、マーケット動向に機敏に対応しながら、保険に対するニーズに着実にアプローチしております。さらに、当社独自開発の顧客管理システムを活用したCRM戦略の一環として協業提携先とのネットワーク化を進め、万全の顧客管理と保全管理体制を構築しながら、高度なお客様サービスを実現しております。

これらの取り組みの中、ターゲットを明確にした効果的なWebマーケティングを実施した結果、投資効率が大きく改善し、営業生産性の向上とともに収益に寄与いたしました。

また、当社は保険業法改正に先んじて、ガバナンス体制及びコンプライアンス体制の充実や情報セキュリティ体制の強化、社内に対応プロジェクトチームを設置する等、より一層の保険募集管理態勢の構築に向けて全社的に取り組み、管理体制面においても積極的に経営資源を投下してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,591百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は933百万円(前年同期比25.8%増)、経常利益は934百万円(前年同期比28.7%増)、四半期純利益は509百万円(前年同期比19.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、営業収益は5,114百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は833百万円(前年同期比31.9%増)となりました。

広告代理店事業におきましては、売上高は272百万円(前年同期比9.7%減)、営業利益は59百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

再保険事業におきましては、売上高は408百万円(前年同期比23.8%増)、営業利益は39百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は1,168百万円増加し8,180百万円、負債は804百万円増加の3,464百万円、純資産は363百万円増加の4,716百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加838百万円及び現金及び預金の減少89百万円によるものであります。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加800百万円及び未払法人税等の減少92百万円によるものであります。純資産の増加の主な要因は、新株予約権行使に伴う自己株式の処分378百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月1日付の「平成27年9月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては、従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	517,479	427,716
受取手形及び売掛金	3,105,773	3,943,828
繰延税金資産	99,115	110,844
その他	289,606	516,742
流動資産合計	4,011,974	4,999,131
固定資産		
有形固定資産	623,287	613,970
無形固定資産		
のれん	40,109	20,054
ソフトウェア	268,368	212,341
その他	170,541	332,836
無形固定資産合計	479,018	565,232
投資その他の資産		
投資有価証券	293,076	388,006
差入保証金	585,977	582,397
保険積立金	844,483	859,672
繰延税金資産	95,460	93,853
その他	73,760	75,879
投資その他の資産合計	1,892,758	1,999,809
固定資産合計	2,995,064	3,179,013
繰延資産	5,159	2,670
資産合計	7,012,198	8,180,816
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	800,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	239,903	147,487
賞与引当金	129,911	67,166
代理店手数料戻入引当金	51,562	67,163
訴訟損失引当金	—	88,384
その他	963,749	1,180,708
流動負債合計	1,585,127	2,550,911
固定負債		
社債	300,000	200,000
退職給付に係る負債	191,113	209,480
資産除去債務	77,992	78,311
その他	505,213	425,512
固定負債合計	1,074,318	913,304
負債合計	2,659,445	3,464,215

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	475,193	352,328
利益剰余金	1,258,866	1,339,389
自己株式	△393,308	△14,442
株主資本合計	4,256,065	4,592,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,627	119,211
その他の包括利益累計額合計	94,627	119,211
新株予約権	2,060	4,800
純資産合計	4,352,753	4,716,601
負債純資産合計	7,012,198	8,180,816

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年10月1日 至平成27年6月30日）
売上高	5,574,666	5,591,088
売上原価	1,382,410	1,115,431
売上総利益	4,192,255	4,475,656
販売費及び一般管理費	3,449,659	3,541,836
営業利益	742,595	933,820
営業外収益		
受取利息	334	175
受取配当金	1,881	5,737
貸倒引当金戻入額	750	—
為替差益	1,610	15,730
投資事業組合運用益	2,528	—
その他	3,351	2,363
営業外収益合計	10,455	24,006
営業外費用		
支払利息	16,250	12,993
その他	10,791	10,330
営業外費用合計	27,042	23,323
経常利益	726,008	934,504
特別利益		
受取和解金	5,414	—
特別利益合計	5,414	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	4,700	—
固定資産除却損	326	—
訴訟損失引当金繰入額	—	88,384
和解金	5,335	—
特別損失合計	10,362	88,384
税金等調整前四半期純利益	721,060	846,119
法人税、住民税及び事業税	237,966	334,295
法人税等調整額	57,312	2,095
法人税等合計	295,279	336,390
少数株主損益調整前四半期純利益	425,781	509,728
四半期純利益	425,781	509,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	425,781	509,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,045	24,583
その他の包括利益合計	26,045	24,583
四半期包括利益	451,827	534,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451,827	534,312
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分により、自己株式処分差損が122,865千円発生し、自己株式が378,925千円減少しております。この自己株式の処分等により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は352,328千円、自己株式は14,442千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年10月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	広告代理店事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,954,658	290,517	329,490	5,574,666	—	5,574,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	215,048	11,844	—	226,892	△226,892	—
計	5,169,706	302,362	329,490	5,801,559	△226,892	5,574,666
セグメント利益	631,848	64,977	43,969	740,795	1,800	742,595

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円にはセグメント間取引消去1,800千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年10月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	広告代理店事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,920,313	262,746	408,028	5,591,088	—	5,591,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	194,383	10,139	—	204,522	△204,522	—
計	5,114,696	272,885	408,028	5,795,610	△204,522	5,591,088
セグメント利益	833,458	59,043	39,518	932,020	1,800	933,820

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円にはセグメント間取引消去1,800千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。